

星の子だより



第 24 号 2017 年 2 月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

新しい年が始まり、早 1 ヶ月。節分を迎え、暦の上では春となっても、まだまだ寒い日が続いています。空気が乾燥するこの時期はインフルエンザや胃腸炎、溶連菌感染症などが流行しやすくなりますので、「手洗い」「うがい」はもちろんのこと、人混みを避ける、マスクを着用するなど、感染予防を心掛けましょう。

今年も子ども達がゆっくと安心して身体を休めることができる環境を整え、丁寧な看護・保育に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ほいくしつのように



星の子ルームでは、好きな遊具で遊んだり、季節の製作を楽しむ他に、絵本の読み聞かせをして過ごしています。

絵本の読み聞かせにより子どもが気分を変えるきっかけになったり、スタッフとの会話を楽しんだり、子どもとスタッフの距離がぐんと近くなり、互いに親しみを感じるようになります。

保護者の皆様もお子さんとふれあう大切な時間に、絵本を一緒に選んだり、膝に乗せてゆっくと読んであげることで、親子のコミュニケーションをより一層深めることができるのではないのでしょうか。

0~2 歳児におすすめの絵本紹介 ~ベスト3~

- No.1、「だるまさんが」
- No.2、「きんぎょがにげた」
- No.3、「おしくらまんじゅう」



かかりつけ医連絡票が変わりました！

星の子ルームでは、利用前に小児科を受診していただき、かかりつけ医が記入した「かかりつけ医連絡票」を持参していただいています。これはお子さんの病状を把握して保育看護を行うための大切な情報です。当室は隔離室がありませんので、感染力が強い病気の場合、お子さん同士の感染を防ぐことは困難です。そこで、当院の小児科医の協力のもと「かかりつけ医連絡票」の見直しを行い、利用可能な病名を以下のように変更しました。

病名	入室基準
RSウイルス	⇒ 回復期のみ
マイコプラズマ肺炎	⇒ 回復期のみ
嘔吐下痢症	⇒ 嘔吐軽減後
溶連菌感染症	⇒ 抗生物質内服 24 時間後

お子さんの症状によって「星の子ルームを利用できるかな？」と迷う時はお気軽にご相談ください。

利用者の声

法学研究科 森田 果さん

6 歳と 3 歳の子供の 2 人とも、星の子ルームには何度もお世話になってきました。熱が 37.5℃前後をさまよい、保育園に登園すると途中で呼び出されるリスクが高い場合や、病み上がりで通常の保育園の活動では負担が大きすぎると予想される場合などに利用しています。特に、3 歳くらいまでは頻繁に利用しました。子供の方も、普段の保育園とは違う環境で、いつもとは違うおもちゃで遊ぶことができ、テレビも(それなりに)見ることができて、保育士さんも親切で数も多くてと、楽しいことづくめらしく(といっても甘やかされているわけではありません)、兄妹の一方が星の子ルームに行くことになると、もう一方が「自分も行きたい」と駄々をこねることもしばしばです。



お知らせ

初めのご利用

事前登録は必要ありません。電話で予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。病状などを詳しくお聞きしますので、時間に余裕を持っておこしください。

書類入手方法

利用案内及び必要書類は星の子ルームのホームページ、教職員グループウェアからダウンロードできます。また星陵地区では医学部 1 号館、3 号館の教室員会掲示板、看護師更衣室前に配備しています。

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>